



静岡県教育委員会  
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

平成26年(2014年)  
1月14日  
火曜日  
第126号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 「学ぶ」意味

静岡県教育委員会教育長 安倍 徹



「のまれる」という言葉を聞くと、津波による甚大な被害を思い出します。私たちは、それ以外にも、「のまれる」ことはないでしょうか。年頭に当たり、昨年を振り返りながら、「のまれる」ことについて考えてみたいと思います。

### ○防災教育

東日本大震災、昨年10月の大島での集中豪雨による洪水や土砂崩れ、11月のフィリピンでの台風による高波など、多くの尊い命が奪われました。あらためて、犠牲になられた方々の御冥福をお祈り申し上げます。

最近の自然災害は局所・集中の傾向が強し、短時間に大きな被害をもたらしています。昨年公表された県の第4次被害想定や「地震・津波対策アクションプラン2013」に基づき、「命を守る教育」という視点から、防災教育の重要性を再確認したいものです。

災害時での流言飛語に「のまれる」ことなく冷静沈着に行動するために、日頃からの対策・心構えが必要です。

### ○ネット依存

厚生労働省が実施した全国調査によれば、ネット依存と呼ばれる中高校生の割合は8%、人数にして約52万人にのぼることが分かりました。「ネット利用の制限や中止を試みたが、うまくいかなかったこと」「度々あった」等の項目に該当した場合をネット依存とした調査ですが、ネット社会に「のまれて」しまう憂慮すべき状況が生じており、今後ますます深刻化していくように思います。安易に送信した個人情報や「世界中を駆け巡り、消去不可能」と取り返しのつかない状況に陥ることも稀ではありません。また、無機質な電子データの文字を使っている会話や、思わぬ誤解を生じさせることもあります。ネット社会で情報とどのように付き合っていくのか、人間が作り出した利器に「のまれて」しまうことのないよう、学校も家庭も、子どもも大人も考える時期に来ています。

### ○「学ぶ」意味

私たちは、様々な形でいろいろなことを日々学んでいます。新しいことを知ったり理解したりしたときの喜びや充実感を感じながら学んでいます。そして、心が豊かになること、ものの見方や考え方が広く異なる意見に耳を傾けられ寛大になること、人に優しくできることなどは、学ぶことの大きな意味のように思います。

しかし、時として学ぶことによって、無意識のうちの上から目線になり、相手の知らないことを責めてしまったり独善に陥ったりする場合があります。それは真に学んでいないからであり、学ぶことに「のまれて」しまっているからではないかと思えます。

学ぶことは心を固くすることではなく柔らかくすることであり、自己を絶対化することで、なす相対化できるようなことだと思います。ある講演会で、「人は学ぶことによって、知識人にもなり教養人にもなる」という話を聞きました。

昨春秋以降、学力についての議論が行われてきました。学ぶ意味を授業をはじめ教育活動全体の中で、子どもたちにも自らも問い続けてほしいと思っています。今年一年の皆様への御健勝と御活躍をお祈りしています。

## 静岡県教育委員会 新委員の紹介



静岡県教育委員の金子容子氏は平成25年12月20日をもって退任し、後任として興直孝氏が就任しました。任期は平成25年12月21日から4年間です。

おき なおたか  
興 直孝氏

(興委員から御挨拶)

教育委員会制度が国において検討される中、委員に就任いたしました。「有徳の人づくり」を柱にすえた静岡県教育の質実な取組には、猶予はありません。教育現場の問題点を顕在化させる取組を受け止めて、これらの問題の解決のため、関係各層の方々の御協力を得て、すばらしい静岡県教育の実現に努めたいと思います。御協力を願っています。

### 講演「子どもの現実とどう向き合うか」

伊東市出身の作家・石川結貴さんによる基調講演では、公園でボール遊びなどが禁止され、子どもたちが居場所をなくしている事例や、インターネットを通じてつながっているものの、ネットに近い人間関係が壊れてしまっている事例など、子どもを取り巻く環境の変化が紹介されました。

このほか、地域への貢献が認められた青少年団体など、5人の個人と16の団体に対し、静岡県青少年育成会議から表彰が行われました。

参加者からは、「子どもが置かれている現実が伝わり、危機感が高まった」「子どもの目線で話を聞くことの大切さを感じた」「子どもの育成のために、声掛けなどで積極的に関わりを持ちたい」といった感想がありました。

【社会教育課】

## 小学生で教えられた言葉は一生もの

静岡県教育委員会委員長 加藤 文夫



6年生の時です。学芸会で歌舞伎の十八番である「勧進帳」が演題と決まり、私は弁慶の役を貰いました。ちなみに、義経役は元副知事の坂本由紀子さんです。台詞を渡され読んでいたうちに、分からない言葉に出くわしました。「義を見てせざるは勇なきなり」という意味が理解できないので、儒教の重要性を再確認したいのですが、子どもにはテンプレカンブンです。担任の先生から「正義を愛して、邪悪を憎む心だ」と言われ、分かったような、分らないような、分らないうちに、分からない言葉に出くわしました。この言葉が突然出て来て、行動になってしまふことが、人生の節目で何度かありました。その度に失礼を失い、辛い思いをしていますが、もう20年以上も前になる商社勤務時代、この言葉に従って、80年代末から90年代の初めのバブル経済の時に行動しています。勤めて

からならないような中途半端な気持ちでしたが、学芸会では台詞をどうとうと張り上げていました。ところが、歳を経るに従い、義とは利とは対立する考である。損得を抜きにして人としてしなければならぬ道であるという理解するようになり、私の中しつかりと住み着いてしまいました。

平社員が破綻すると思えば会社は破綻すると思えば、社長の当時の社長が、他社の活動に刺激され財テクを始めようと言いつつ、財テクに走れ立っています。

「義を見てせざるは勇なきなり」に出会った小学校時代が、私のその後を生き方を決めたと話す話です。こんな経験をさせることのできる学校も先生も素敵ですね。それに協力できる教育委員という今の立場を喜んで、5年間の駐在の後に、会社を辞めました。勤めていた商社は、別の商社に吸収合併され、もはや名前も残っていません。義も必ずしも受け入れられませんが、生えつづきあります。かしながら、歳相応に、柄にも無い中庸も心掛けていきますので、どうぞ、皆様、今年も宜しくお願

「義を見てせざるは勇なきなり」に出会った小学校時代が、私のその後を生き方を決めたと話す話です。こんな経験をさせることのできる学校も先生も素敵ですね。それに協力できる教育委員という今の立場を喜んで、5年間の駐在の後に、会社を辞めました。勤めていた商社は、別の商社に吸収合併され、もはや名前も残っていません。義も必ずしも受け入れられませんが、生えつづきあります。かしながら、歳相応に、柄にも無い中庸も心掛けていきますので、どうぞ、皆様、今年も宜しくお願

## いのち輝くみんなの未来 子どもも若者育成支援強調月間県大会

11月22日(金)、裾野市民文化センターで、平成25年度子ども・若者育成支援強調月間静岡県大会が開催されました。



声掛け運動のアンバサダーを委嘱された藤田弓子さん

### 声掛け運動の充実に向けて

「地域の青少年声掛け運動」は、地域の青少年に対し、大人の側から挨拶をする、褒める、励ますなどの声掛けを行うこと、青少年の健全育成支援と、青少年を地域で守り育てる意識の高揚を目標とした運動です。参加者は既に30万人を超えています。

この運動の一層の充実に向け、このたび、伊豆の国市在住の女優・藤田弓子さんに「アンバサダー」(即ち親善大使として参加していただくことになり、県大会で委嘱式を行いました。

明るい笑顔がトレードマークの藤田弓子さんは、安倍教育長から委嘱状を受け取る、「昔の子どもは、地域の大人から怒られながらも愛されていた。最近の子どもには、そういう体験が少ないのではないか。地域の大人の復権と子ども健全育成に向け、声掛け運動をより充実させるため、頑張ります」と力強く語り、静岡県の子ども・若者健全育成への協力を約束してくださいました。

参加者からは、「子どもが置かれている現実が伝わり、危機感が高まった」「子どもの目線で話を聞くことの大切さを感じた」「子どもの育成のために、声掛けなどで積極的に関わりを持ちたい」といった感想がありました。

もたちが居場所をなくしている事例や、インターネットを通じてつながっているものの、ネットに近い人間関係が壊れてしまっている事例など、子どもを取り巻く環境の変化が紹介されました。

実践NOTE

明日を今日よりもよい日にしたい 福ろう製作所の取組

富士宮市立富士宮第二中学校 教諭 金森みどり



富士花鳥園での実演販売 筆者は右端

本校は、富士山を御神体とする富士山本宮浅間大社の北側に位置する中規模校です。富士山学習を生み出したことでも知られる、市の中心校として歴史と伝統のある学校です。市内には5校の中学校に特別支援学級が設置されていますが、本校特別支援学級は古くからその中心的役割を担ってきました。

「福ろう製作所」の立ち上げ

「福ろう製作所」とは、本市の5校の中学校特別支援学級で立ち上げた疑似会社です。その名の通り、「幸せの鳥」粟Ⅱ不苦勞を題材にしたオリジナル製品を製造販売する会社です。本校は、本校の社員の立場で、総合的



今年度の福ろう製品

な学習の時間(富士山学習Ⅱ)の一部や作業学習などの時間に、「粟」を題材にした切り絵を製作しています。今年、富士山が世界文化遺産に登録されたことを受けて、富士山の構成資産を見学し、本市を訪れる観光客の方々に、すばらしい富士山を届けようとして、「富士山と粟」をモチーフにした製品も開発しました。生徒たちは、富士山の麓に住む誇りと喜びを感じながら、意欲的に製品作りに取り組んでいます。「福ろう製作所」の製品には、全て「明日を今日よりもよい日にしたい」というメッセージが込められています。こ



東北の仲間カレンダーを贈ろう

音楽授業の改善



自分を表現する朝の歌



全校で楽しむ裏山コンサート



静岡県合唱コンクール



「福利課保健師」

「福ろう製作所」では、本校を会場に、年に4回程合同学習会を行います。1学期には、1週間の集中作業実習を行いました。最終日には、地元の見光に出向き、観光客の前で実演販売や、キャリア体験もを行いました。観光地の従業員の方々に対するブレゼンテーションや、観光客の方々に対する接客体験などが、生徒の学びへの意欲と自信につながっています。3学期には、自分たちの取組の成果や様々な体

験から学んだことの報告会を開いたり、技能コンクールを行ったりしながら、自らの成長を確認し、次年度への目標を自分のものにしていきます。お金を手にするのは大変なこと、大切にしたい

本校は、全校児童27人の山間の小規模校です。一人一人の子どもの「小さなできた」を積み上げて自信を持たせ、その自信をたくましさにつなげたいと考えています。音楽科では、全校合唱を通して子ども一人一人に明るさと自信を持たせ、活力ある学校にしたいと考えています。

子どもたち全員が、音楽に興味を持ち、楽しく活動できるように、口を開く・息を深く吸うなど各自の目標をスモールステップでクリアしていく学習に取り組んでいます。毎時間一つずつ目標を達成し、スキルを積み上げ、音楽の苦手を克服し、音楽発表会でソロで歌いたいと立候補する子どもが半数を超え、人選に苦労しました。当日は、「これが鏡山小の合唱だ」と言わんばかりの堂々とした歌声でした。合唱は、子どもにも自信をつけ、学校を元気にする源だと感じた瞬間でした。

静岡県芸術祭にも挑戦しました。歌声だけでなく、態度面でも高く評価していただき、特別賞を受賞しました。「練習がつまらぬ」という時期もありましたが、それを乗り越えた今は、「鏡山小の自慢は全校合唱です」と子どもたちの誰もが言っています。

そんな子どもたちの姿から私も、「歌声で学校は変わる」と実感しています。

総務省統計局が取りまとめた「統計から見た我が国の高齢者」によると、平成25年9月15日時点で、65歳以上の高齢者は3186万人で過去最多となり、総人口に占める割合では、初めて4人に1人以上が高齢者となりました。

「加齢は知的に成熟するための発展期」

「福ろう製作所」では、本校を会場に、年に4回程合同学習会を行います。1学期には、1週間の集中作業実習を行いました。最終日には、地元の見光に出向き、観光客の前で実演販売や、キャリア体験もを行いました。観光地の従業員の方々に対するブレゼンテーションや、観光客の方々に対する接客体験などが、生徒の学びへの意欲と自信につながっています。3学期には、自分たちの取組の成果や様々な体

験から学んだことの報告会を開いたり、技能コンクールを行ったりしながら、自らの成長を確認し、次年度への目標を自分のものにしていきます。お金を手にするのは大変なこと、大切にしたい

本校は、全校児童27人の山間の小規模校です。一人一人の子どもの「小さなできた」を積み上げて自信を持たせ、その自信をたくましさにつなげたいと考えています。音楽科では、全校合唱を通して子ども一人一人に明るさと自信を持たせ、活力ある学校にしたいと考えています。

子どもたち全員が、音楽に興味を持ち、楽しく活動できるように、口を開く・息を深く吸うなど各自の目標をスモールステップでクリアしていく学習に取り組んでいます。毎時間一つずつ目標を達成し、スキルを積み上げ、音楽の苦手を克服し、音楽発表会でソロで歌いたいと立候補する子どもが半数を超え、人選に苦労しました。当日は、「これが鏡山小の合唱だ」と言わんばかりの堂々とした歌声でした。合唱は、子どもにも自信をつけ、学校を元気にする源だと感じた瞬間でした。

静岡県芸術祭にも挑戦しました。歌声だけでなく、態度面でも高く評価していただき、特別賞を受賞しました。「練習がつまらぬ」という時期もありましたが、それを乗り越えた今は、「鏡山小の自慢は全校合唱です」と子どもたちの誰もが言っています。

そんな子どもたちの姿から私も、「歌声で学校は変わる」と実感しています。

総務省統計局が取りまとめた「統計から見た我が国の高齢者」によると、平成25年9月15日時点で、65歳以上の高齢者は3186万人で過去最多となり、総人口に占める割合では、初めて4人に1人以上が高齢者となりました。

「加齢は知的に成熟するための発展期」



市内の5校の仲間との集中作業実習

お金を手にするのは大変なこと、大切にしたい

実践NOTE

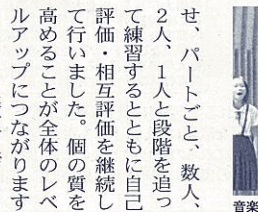
全校合唱で学校を元気にする

浜松市立鏡山小学校 教諭 川村陽子



筆者

子どもたち全員が、音楽に興味を持ち、楽しく活動できるように、口を開く・息を深く吸うなど各自の目標をスモールステップでクリアしていく学習に取り組んでいます。毎時間一つずつ目標を達成し、スキルを積み上げ、音楽の苦手を克服し、音楽発表会でソロで歌いたいと立候補する子どもが半数を超え、人選に苦労しました。当日は、「これが鏡山小の合唱だ」と言わんばかりの堂々とした歌声でした。合唱は、子どもにも自信をつけ、学校を元気にする源だと感じた瞬間でした。



音楽発表会

静岡県芸術祭にも挑戦しました。歌声だけでなく、態度面でも高く評価していただき、特別賞を受賞しました。「練習がつまらぬ」という時期もありましたが、それを乗り越えた今は、「鏡山小の自慢は全校合唱です」と子どもたちの誰もが言っています。

総務省統計局が取りまとめた「統計から見た我が国の高齢者」によると、平成25年9月15日時点で、65歳以上の高齢者は3186万人で過去最多となり、総人口に占める割合では、初めて4人に1人以上が高齢者となりました。

# 緊急特集 学力向上に向けて vol.3 これまでの授業実践を 大切にしながら授業改善に努める

本県では、「どの子どもにも確かな学力を育む」ために、学習指導要領に基づいて付けた力(単元・本時の目標)を設定し、問題解決的な学習や関わり合いを大切にしながら授業づくりを進めてきました。

これまでの授業実践を大切にしながら、後に示す「授業改善の視点」を押さえて、日々の授業に臨みましょう。

## 国が求める学力

「確かな学力」は「基礎基本を確実に身に付け、

子どもにも学習指導要領等に示された教育内容を適切に指導して評価し、次の指導に生かすことにより、どの子どもにも「確かな学力」を育む。

付けた力の設定

授業を計画するに当たっては、常に学習指導要領に基づいて付けた力を設定するとともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得とこれらを活用して課題を解決するために必要な思考・判断力・表現力等の育成のバランスを重視する。

問題解決的な学習等の重視

子どもを学びの楽しさに導くこと(教材研究)と子どものよさを引き出すこと(子ども理解)を柱とした授業づくりを進める。また、問題解決的

な学習等、ひと、もの、要領に示されている目標を達成する場を大切にしましょう。

発達段階を考慮し、教科で使う用語やキーワードを用いて、「文字数や時間を制限して」等の条件を与えて書かせる活動を取り入れましょう。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

## 平成25年度末教職員人事異動方針

静岡県教育委員会は、新たに策定される『静岡県総合計画』の柱であり、『静岡県教育振興基本計画』の基本目標である「個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し行動する『有徳の人』の育成」に向け、以下の点を基本方針として平成25年度末教職員人事異動を行う。

### 1 教育活動の充実

- 「豊かな人間性」「健やかで、たくましい心身」「確かな学力」を育むための方針
- (1)指導力や専門性など教職員個々の特性に配慮した配置に努める。
- (2)学びの成果が現れる魅力ある授業づくりの推進役となり得る教職員の配置に努める。
- (3)教職員一人一人の熱意・意欲を活かした配置に努める。

### 2 教職員の資質向上

高い倫理観と強い使命感、深い専門性を備えた「頼もしい教職員」を育成するための方針

- (1)校種間交流及び行政機関等、広範かつ広域的な交流を積極的に推進する。
- (2)新規採用後10年間に、校種や地域が異なる3校での勤務を経験できる異動を積極的に行う。
- (3)学校や学科の特色、課題等に配慮しつつ、同一校勤務年数の長い教職員の異動を積極的に行う。
- (4)大学院や海外等への派遣を計画的かつ積極的に行う。

### 3 機能的で活力ある組織づくり

家庭・地域と連携した防災教育、生徒指導など今日的な課題への的確・迅速な対応と、中・長期的な視点に立った学校経営を可能にするための方針

- (1)命を守る教育の推進役となり得る教職員の配置に努める。
- (2)指導力とマネジメント能力とを兼ね備えた女性や若手、意欲あふれる教職員を積極的かつ計画的に管理職に登用する。
- (3)校長の同一校在任期間の延長化に努める。

【教育総務課】

## 人権教育研究指定校の実践

1年目の取組から見えてきたこと

### 伊東市立大池小学校

大池小学校では、研究指定校として、何か新しいことに取り組むのではなく、今までやってきたこと・いつもやっていたことを、『人権めがね』というフィルターを通して見直し、さらに積み重ねていくことで研究の1年目をスタートしました。



自分自身の考えや思いを伝え合う

確かめる。学んだことが確かに身に

### 調査の結果から

昨年度の調査結果を受けて、『確かな学力』の育成に向けた提言が平成25年3月に出されました。また、本年度の結果を受けて、『静岡県の子どもを育むための提言』が11月に発表されました。これらの提言を受け、各教師・各学校が授業改善を推進する視点を示しました。

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

【学校教育課】

小が大好き、自分の大切さとともに友達の大切さを認めることができる子の育成」としました。学部、こころ部、特別活動部の三つの部会がこのテーマに沿って話し合いをし、具体的な手立てを決め、研究を進めています。

本年度の取組の一つとして、研究指定を自校だけに留めず、伊東市立門野中学校区の3校合同研修会にて、研究テーマを

「確かな学力」を育んでいくものと考えられています。

【教育政策課 人権教育推進室】

## 家族で身近な環境学習イベントに出掛けよう! 「ふじのくに」環境学習フェスティバルを開催中

「ふじのくに」環境学習フェスティバルとは?

持続可能な社会の構築に向けた県民の環境保全行動を促すため、社会教育施設などの多様な主体との協働により、環境学習会を一堂に展開し、環境学習への参加機運を高めるとともに、地域に根差した環境学習の定着を図るイベントです。



親子自然観察会 環境ふれあい課 054(221)2919

## つながり合う ～チーム支援を 目指して～

子どもや保護者を支援するに当たり、学校内で職員同士がつながり合っていますか？また、関係機関と連携して、問題を解決しようとしていますか？

医療や福祉分野では、それぞれの専門職がそれぞれの立場でチームを組んで支援に当たっています。教育の分野でもチーム支援、つまりお互いがつながり合うことが必要になります。次の三つのポイントで説明します。



つながった温かい手

- ①力を合わせて
- ②1人で抱え込まない
- ③無理のない支援を

●力を合わせて  
学校内で職員同士がつながり合い、力を合わせることが求められます。学校には、様々な資質・能力を持った職員がいます。授業や特別活動、その他の教育活動全体を通して、それぞれの職員が多面的に子どもを見て、その保護者や家庭状況等の情報を集めて、支援計画を立ててみましょう。

●無理のない支援を  
支援する時は、スモールステップで支援することです。すぐに結果を求めるのではなく、支援の方向性が正しかったか、無理のない計画であったかなど、複数の目で見直すことです。また、「学校でできること」と「学校でできないこと」を見極めて、外部機関と連携して役割分担を明確にしていきたいでしょう。

●一人が抱え込まない  
子どもが何か問題を起こすと、担任が前面に立つて指導・支援する場面がありますが、その担任がバックアップする体制が整っているでしょうか？職員が一人で問題を抱え込まないためにも、何でも言い合える職場環境が求められています。このことは子どもたちにも伝えることです。「助け合おう」と言えるつながりを、まずは子どもたちの手本となる大人同士の関係の中で作っていきましょう。

一人つくり支援課  
教育相談班

## 浜松工業高等学校校定時制 工業技術科(建築専攻)編入学生徒募集

工業の建築分野に関する学習を希望する社会人等に対して、専門的知識・技術を習得する機会を提供し、資格取得等に係るニーズに応えます。この課程を卒業すると、二級建築士試験の受験資格を得ることができます。

募集人員	1回目 5人程度	2回目 5人程度
志願受付	平成26年2月9日(月)～2月20日(木) (土、日、祝日を除く)	平成26年3月10日(月)～3月14日(金)
編入生試験	平成26年3月3日(月)午後5時30分～午後9時	平成26年3月24日(月)午前8時30分～正午
合格発表	平成26年3月7日(金)午後2時以降	平成26年3月26日(水)正午以降

問 県立浜松工業高等学校 浜松市北区初生町1150  
TEL053(436)1101 FAX053(437)9988

## 「やいづ体験の家」～つくる思い出の室～

作りたての黒はんぺんは、市販のものとは食感が違います。あなたも体験してみませんか。その他にも楽しい創作活動が盛りだくさん。この冬は、やいづ青少年の家で、家族や友人と過ごしませんか。

- 開催日(活動コース)  
1/19(日)(A)、1/26(日)(B)  
2/2(日)(A)、2/9(日)(B)、2/16(日)(A)
- 内容(料金) ※開催日により活動内容が変わります。  
A 黒はんぺん作り(350円)、篆刻(370円)、ロープなぐしき(130円)、ロープストラップ(100円)  
B 駿河風(300円)、七宝焼き(500円)、切り絵(200円)、プランセット(130円)
- 時間 午前9時30分～(受付:午前9時～)
- 対象 どなたでも(小学3年生以下は保護者付き添い)
- 申込み 1/6(月)～ ※メ切は各回の前日正午
- 問 静岡県立焼津青少年の家 TEL054(624)4675  
HP http://yaisei.jp/

## 県立中央図書館 休館のお知らせ 休館日 1/28(火)～2/6(木)

蔵書点検のため休館します。休館中は、電話やメール等によるレファレンスも休止します。休館中の図書返却は、当館のブックポストほか、お近くの図書館等返却可能施設へお願いいたします。期間中、グランシップ「えほんのひろば」は2月1日(土)、2日(日)を除き開室します。

## ふじのくに芸術祭2013

### 美術展・写真展・書道展の総決算!! 見逃せない「優秀作品展」

大好評のうちに幕を閉じたふじのくに芸術祭2013美術展・写真展・書道展の入賞作品などを集めて一堂に展示します。

ふじのくに芸術祭2013の最後の展覧会として、今年度の芸術祭を彩った作品をゆくり鑑賞できるチャンスです。違い時間帯まで開催している中で、買い物の後や仕事帰りに御覧いただけます。選りすぐりの芸術作品に心洗われるひとときを過ごしてみませんか。

- 日時 1月15日(水)～1月20日(月)  
午前10時～午後8時(最終日は午後4時まで)
- 会場 イシハシプラザ4階ホール(沼津市高島本町1-5)  
※沼津駅徒歩5分、大駐車場も利用いただけます。
- 入場料 無料



問 文化政策課  
TEL054(221)2254  
ふじのくに芸術祭2013  
美術部門美術展  
静岡県芸術祭賞受賞作品

◆「貴重書」とは  
県立中央図書館が所蔵する明治時代以前の希少な資料類です。代表的な特殊コレクションである「英文庫」は、明治維新で静岡に移封された徳川家とともに持ち込まれた江戸幕府旧蔵書です。鎖国の間に諸外国の研究のため収集した洋書が数多くあることが特徴です。

◆デジタルライブラリーで貴重書の画像を公開  
当館ウェブサイトでは、貴重書をデジタル画像で閲覧できます。「英文庫」は全タイトル・全ページを公開しています。そのほかにも、初代静岡県知事の関口隆吉氏が久能山に図書館を建設するため収集した資料群の「久能文庫」や、「上村翁旧蔵浮世絵集」、静岡県に関する地域資料の貴重書の一部も御覧いただけます。

◆明治の英語教育とは？「貴重書講座」を開催  
「しずおかの貴重書」を紹介、解説する講座を開催します。今回のテーマは明治の英語教育です。明治という激動の時代に、貴重書がたどった歴史の歩みに思いをはせてみませんか。当日は、講座で紹介する貴重書の实物展示も行います。

◆平成25年度貴重書講座「静岡中学校移管図書洋書」をめぐる一歩  
「日時」2月22日(土)午後2時～3時30分  
「会場」当館3階会議室  
「講師」山口博氏  
「定員」70人(先着順)  
「入場」無料  
申問 県立中央図書館  
企画振興課  
TEL054(266)1246

◆「貴重書」とは  
県立中央図書館が所蔵する明治時代以前の希少な資料類です。代表的な特殊コレクションである「英文庫」は、明治維新で静岡に移封された徳川家とともに持ち込まれた江戸幕府旧蔵書です。鎖国の間に諸外国の研究のため収集した洋書が数多くあることが特徴です。

◆「しずおかの貴重書」のススメ  
県立中央図書館が所蔵する明治時代以前の希少な資料類です。代表的な特殊コレクションである「英文庫」は、明治維新で静岡に移封された徳川家とともに持ち込まれた江戸幕府旧蔵書です。鎖国の間に諸外国の研究のため収集した洋書が数多くあることが特徴です。



「英蘭対訳字書」(1823～24年)

国語、美術系の先生方必見! ことばを見て、聞いて、さわって楽しむことができる展覧会です。

## 大岡信ことば館連携事業 「ことばの世界」

### 2/16日～3/2日

10:00～17:00(入場は16:30まで) | グランシップ 6階展示ギャラリー

三島市出身の詩人・大岡信の詩を題材に、ことばを映像や音で感じて楽しむことができる体感型の展覧会。床を這う(ことば)、朗読によって耳から伝わる(ことば)、体に伝わる(ことば)の振動は、新しい「ことばの世界」を教えてください。ことばや詩を、アタマで考えず体感して遊んでみよう!

【お問い合わせ】グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000(営業時間/10:00～18:30)  
主催：公益財団法人静岡県文化財団、静岡県、大岡信ことば館

[ 告 白 ]